

登校をしがる子どもに向き合う

1 翼くんはこのところ学校を休みがちです。このことで、担任の先生から電話がありました。

翼くんの今の出席状況ですと、出席日数が足りなくなるおそれがあります。お家の方からも、翼くんに働きかけていただけませんか。



ご迷惑をおかけし、本当に申し訳ありません。夫と相談して、対応を考えてみます。

2 その日の夜、翼くんのお母さんとお父さんは、翼くんのことについて話し合いました。

今日、担任の先生から電話があったわ。翼には何度も学校に行くように言ってるんだけど…。あなたの方から翼に言ってもらえないかしら。



わかった。今日、翼と話をしてみるよ。

3 お父さんは、翼くんにごどう話を切り出していいものか、頭を悩ませました。

うーん。どう言ったものか？



4 あなたが親なら、どのような対応をしますか？翼くんの不登校のきっかけを右の表の中から選択し、翼くんへの対応を考えてください。



表 不登校のきっかけ

	人数	比率
友人関係をめぐる問題	620	50.5
教師との関係をめぐる問題	290	23.6
学業の不振	385	31.4
クラブ活動、部活動の問題	230	18.7
学校のきまり等をめぐる問題	137	11.2
入学・転編入学・進級してなじめなかった	199	16.2
家庭生活環境の急激な変化	60	4.9
親子関係をめぐる問題	158	12.9
家庭内の不和	104	8.5
病気をしてから	184	15.0
その他	269	21.9

※現代教育研究会（2001、26頁）より、『不登校に関する実態調査－平成5年度不登校生徒追跡調査報告書－』。この報告書は、文部科学省から委託を受けた現代教育研究会が実施した調査の結果をまとめたものである。調査対象は、1993（平成5）年度に「学校ごらい」を理由に年間30日以上欠席した、中学校を卒業した生徒である。

※表からは「特に思いあたることはない」と回答した者を除いている。